

## 「京大有志の会」の声明文

戦争は、防衛を名目に始まる。  
戦争は、兵器産業に富をもたらす。  
戦争は、すぐに制御が効かなくなる。

戦争は、始めるよりも終わるほうが難しい。  
戦争は、兵士だけでなく、老人や子どもにも災いをもたらす。  
戦争は、人々の四肢だけでなく、心の中にも深い傷を負わせる。

精神は、操作の対象物ではない。  
生命は、誰かの持ち駒ではない。

海は、基地に押しつぶされてはならない。  
空は、戦闘機の爆音に消されてはならない。

血を流すことを貢献と考える普通の国よりは、  
知を生み出すことを誇る特殊な国に生きたい。

学問は、戦争の武器ではない。  
学問は、商売の道具ではない。  
学問は、権力の下僕ではない。

生きる場所と考える自由を守り、創るために、  
私たちはまず、思い上がった権力にくさびを  
打ちこまなくてはならない。

違憲の戦争法案「安全保障関連法」を廃案にするために、学生と学者・教職員  
の共同の運動が広がっています。安倍内閣が衆院で強  
行採決したあと、その勢いはますます大きくなつてい  
ます。法案に反対する学生  
たちによる集会も各大学で  
開催され、急速な運動へと  
変化をしています。

このような学生の活動に胸を打たれた学者・教職員・弁護士も多く、「安保法案  
東京大学人緊急集会」では「このような会がもたれた  
ことに感動している。」（佐藤学東大名誉教授）「学生  
たちがこのような大盛況の会を開いてくれたことに大  
変感謝している。」（間宮陽介京大名誉教授）と学生の

# 「広がる！深まる！」 戦争法案反対」 学生と学者がスクラム

活動をたたえました。京大の教員、学生らでつくる「自由と平和のための京大有志の会」が発表した声明文はインターネットで話題になり、各地の集会で読み上げられています。



## 「安倍NO！」大合流 7万人が国会包囲



7月24日「民主主義を取り戻せ！戦争させるな！」と呼びかける「安倍政権NO！首相官邸包囲」が行われ、7万人が抗議行動を展開しました。

## 全国教職員投票 「平和を広げる国」手渡したい

「戦争をする国」づくりを許さない、わたしの意思表示」への投票をありがとうございました。圧倒的多数の教職員が、「戦争する国」ではなく、憲法9条をいかし「平和をひろげる国」を子どもたちに手渡したいという意思を表明しています。大阪では投票総数が3500を越えました。憲法を踏みしり、「教え子を再び戦争に送る」ことにながる戦争法案は廃案にす

る以外ありません。

「私のひとこと」に寄せられた声を紹介します。

平和をひたすら希望します。

私は死にたくないし、誰も傷つけたくない。

憲法9条では戦争放棄です。

「お国のために死んでいい」と教育する教師には絶対なりたくありません。

戦争法案を廃案に。教え子を再び戦場に送るな。